

## 健康フロンティア戦略

平成16年5月19日  
与党幹事長・政調会長会議

### I. 戦略の趣旨

我が国は超高齢社会への道を歩みつつあり、10年後の平成27年（2015年）には高齢者数が3300万人に達することが予測されている。その中で、我が国が今後目指すべき方向は、単なる長寿ではなく、国民一人ひとりが生涯にわたり元気で活動的に生活できる「明るく活力ある社会」の構築である。

本戦略は、こうした趣旨に基づき、国民の「健康寿命（健康で自立して暮らすことができる期間）」を伸ばすことを基本目標に置き、「生活習慣病対策の推進」と「介護予防の推進」の2つのアプローチにより政策を展開するものである。

#### <戦略の実施期間>

平成17（2005）年から平成26（2014）年までの10年間

### II. 戦略の目標

生活習慣病対策と介護予防の推進による成果について数値目標を設定し、その達成を図ることにより、健康寿命を2年程度伸ばすことを目指す。

#### (1) 疾病の罹患と死亡を減らす「生活習慣病対策の推進」

がん対策…5年生存率を20%改善  
心疾患対策…死亡率を25%改善  
脳卒中対策…死亡率を25%改善  
糖尿病対策…発症率を20%改善

#### (2) 要介護になることを防ぐ「介護予防の推進」

要介護者の減少…「7人に1人」を「10人に1人」へ

### Ⅲ. 戦略の視点

Ⅱに示した目標を達成するため次の視点に立った政策を展開する。

#### (1) 国民の不安に応える「的を絞った政策」

「健康長寿」は国民の最も関心の高い事項であり、国民が抱く不安に対応した「的を絞った政策」を重点的に展開する。

#### (2) 国民の生活習慣や意識の「変化に即応した政策」

喫煙や食生活などの生活習慣の影響から、疾病構造が変化している状況を踏まえ、効果の高い政策を戦略的に展開する。

#### (3) 高齢期を元気に過ごすという「新たな課題に挑戦する政策」

高齢になっても、できる限り元気に過ごすという国民共通の願いを実現するため、介護予防を強力に推進する。

#### (4) 自助を基本としつつ、地域で支え合う「自助と共助の政策」

「自らの健康は自らが守る」ことを基本とし、個人の自発的な取組を重視しつつ、地域で支え合うことを支援する。

#### (5) 健康寿命を伸ばす「科学技術の振興を図る政策」

最新技術を医療・介護現場に積極的に取り入れ、効果（健康寿命の延伸）につながる効率の良い投資（科学技術の振興）を重視した政策を展開する。

## IV. 政策の内容

### <政策の柱>

国民各層を対象に、それぞれについて重要性の高い政策を重点的に展開する。

- 働き盛り層 : 『働き盛りの健康安心プラン』
- 女性層 : 『女性のがん緊急対策』
- 高齢者層 : 『介護予防10ヵ年戦略』
- 『健康寿命を伸ばす科学技術の振興』

#### (1) 『働き盛りの健康安心プラン』

##### <ねらい>

働き盛り層を主な対象として「3大死因（がん、心疾患、脳卒中）」と「糖尿病」について食育を含む総合的予防対策を、地域と職域を通じて推進するとともに、「心の健康問題（メンタルヘルス）」に積極的に取り組む。

##### <具体的な政策>

#### ① 個人の行う「健康づくり」の支援

- 「e-ヘルス」の推進
  - ・ ITを活用した「正しい情報」の発信、「自己学習」機会の提供、専門家による相談・支援
- 健康づくりの「場」と「機会」の提供
  - ・ 「ウォーキングロード」、「ヘルシーメニュー」、
  - ・ 年次有給休暇の取得促進、健康休暇の普及
- 職場における個人の健康づくりの支援
- 身近に地域・職域で受けられる専門相談・指導等
  - ・ 関係者の連携による安心のネットワーク

#### ② 健診データに基づく継続的な健康指導

- 生活習慣病予防プログラムの開発・普及（地域と職域の連携）
- 地域と職域を通じた、生涯にわたる健診データの継続的な活用

### ③迅速な救命救急と専門診断・治療の確保

- 「時間の壁」に立ち向かう国民の救命参加
  - ・国民による「除細動」の啓発普及、講習体制の整備
- 救急医療体制の整備
  - ・CCU(心疾患集中治療室)、SCU(脳卒中集中治療室)の整備
- がん医療の「均てん化」
  - ・全国に地域がん診療拠点病院を整備
- ITを活用した遠隔医療の普及
- 職場におけるメンタルヘルス対策の推進
  - ・産業医活動への支援
- 心の健康問題を抱えた人に対する早期発見・治療の実施
  - ・地域・職域における心の健康に関する正しい知識の普及啓発の推進
  - ・救急医療体制の整備
  - ・心の健康問題を抱えた人のサインに気づき適切に危機介入できる専門家等の養成

### ④身近な地域で安心リハビリ

- 脳卒中・心筋梗塞等の急性期リハビリテーションの推進
- 切れ目ないリハビリテーションの推進
  - ・医療と介護のリハビリテーションの連携強化
- 心の健康問題を抱えた人の早期社会復帰を図るリハビリテーションの推進

## (2) 『女性のがん緊急対策』

### <ねらい>

女性のがん罹患率の第一位である「乳がん」と発症年齢が低年齢化している「子宮がん」について緊急対策を講じるとともに、女性の生涯を通じた健康支援対策を推進する。

### <具体的な政策>

#### ①「女性のがん」への挑戦

- 乳がん対策
  - ・マンモグラフィの緊急整備
- 子宮がん対策
  - ・「20歳からの子宮がん検診」などの普及
  - ・予防のための意識啓発の推進
- 安心して利用しやすい検診体制
  - ・専門医や専門技師の育成と養成、休日夜間の検診体制の整備

## ②女性の生涯を通じた健康支援

- 「女性にやさしい医療」の推進
  - ・女性専門外来の設置促進
  - ・国立成育医療センターを中核とした情報提供

## (3)『介護予防10ヵ年戦略』

### <ねらい>

高齢者が要介護となる主な原因である「生活機能低下」「骨折」や「脳卒中」「痴呆」をできる限り防ぐために、効果的な介護予防対策を推進する。

### <具体的な政策>

#### ①家庭や地域で気軽に介護予防

- 気軽に利用できる介護予防の推進
  - ・介護予防設備等の緊急的な整備
  - ・生活圏域ごとの介護予防を含めたサービス拠点の計画的整備
  - ・生涯スポーツ、文化活動を通じた介護予防の推進
  - ・地域資源の積極的な活用
- 介護保険制度の見直し
  - ・新しい介護予防サービス体系の導入

#### ②効果的な介護予防プログラムの開発・普及

- 介護予防プログラムの開発・普及体制の確立
  - ・「介護予防研究・研修センター（仮称）」の設置
- 家庭や地域での介護予防の取り組みへの支援
  - ・家庭での取り組みや地域における支え合い活動の支援

#### ③骨折予防対策の推進

- 地域における「転倒骨折予防教室」の普及
- 「骨粗鬆症予防」の推進

#### ④脳卒中对策の推進

- 救急医療体制の整備（SCUの整備）
- 切れ目のないリハビリテーションの推進・医療と介護のリハビリテーションの連携強化

## ⑤地域で支える「痴呆ケア」

- 地域における痴呆サポート体制の整備
  - ・地域での相談・早期診断・支援サービスの推進
  - ・初期診療の標準化と専門機関との連携体制の強化
- 痴呆ケアの人材育成
  - ・痴呆ケア研究・研修の推進
  - ・かかりつけ医と保健師における痴呆ケア研修の推進

## (4)『健康寿命を伸ばす科学技術の振興』

### <ねらい>

健康寿命を伸ばすことに資する科学技術を振興する観点から、基盤的技術や最先端技術の研究開発を推進するとともに、医療や介護の現場を支える各種技術の開発普及を図る。

### <具体的な政策>

#### ①基盤的技術と最先端技術の研究開発

- 老化及び老化抑制機構の解明（痴呆を含む）
- ゲノム科学、たんぱく質科学、ナノテクノロジーの推進

#### ②医療現場を支える技術の開発普及

- がん、心疾患、脳卒中、糖尿病の画期的な予防・診断・治療法の開発
- 痴呆、骨折の画期的な予防・診断・治療法の開発
- 再生医療技術等の研究開発のさらなる推進
- がん患者等のQOLの向上（生活機能を温存する治療法の開発等）
- 専門医等の育成、医療安全の推進、診療が「1ライン」の一般医への普及

#### ③介護現場を支える技術の開発普及

- 痴呆性高齢者のリハビリテーション技術の確立
- 介護支援ロボットの開発
- 身体機能を補助・代替する機器の開発

#### ④国民による自己選択を可能とする評価と公表

- 技術評価と政策評価の推進

## 地域がん登録に基づく地域差、施設差の分析－基礎資料－

## 1. 府県間の分析

## 地域がん登録実施府県&lt;図1&gt;

生存率計測地域（がん研究助成金「地域がん登録」研究班による）

## 予後調査の方法

方法	登録名	備考
住民票照会	山形、福井、大阪、千葉* <sup>1)</sup>	<sup>1)</sup> 生存確認のみ（死亡、転居に基づく除票の閲覧不可）
全死亡照合	新潟 <sup>2)</sup> 、宮城、鳥取、長崎	<sup>2)</sup> 県立がんセンター患者のみ 住民票照会（全体の20%）
テープ照合	神奈川*、愛知	

\*モデル地区

罹患及び生死確認の信頼性をともにクリアする地域

山形、福井、大阪、新潟、宮城、鳥取、長崎

## 5年相対生存率、特定部位（中間報告）&lt;表1&gt;

Follow-back（死亡票によって初めて把握されたがん患者の遡及調査）例を除く

主要部位については進行度別・進行度調整（全体の進行度分布を標準として）

## 2. 大阪府11医療圏別

マップ&lt;図2&gt;

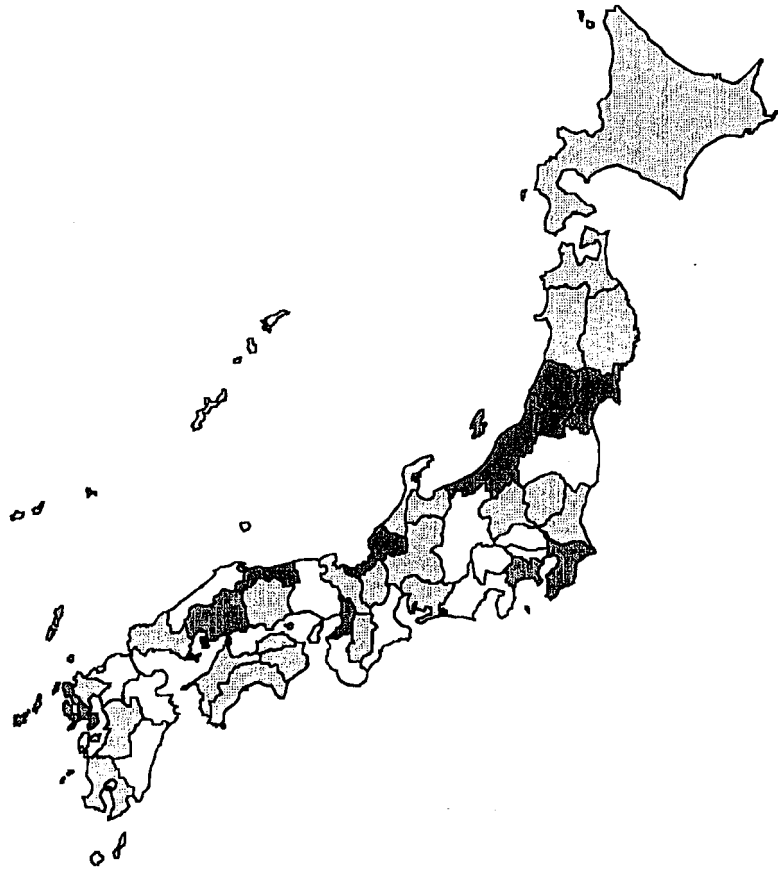
主要部位、進行度調整生存率（大阪府全体の進行度分布で調整）&lt;表2&gt;

## 3. 大阪府がん診療拠点病院での比較

主要部位別進行度別&lt;表3&gt;

拠点病院（成人病センター別掲）と地域レベルの比較－米国SEERの成績&lt;表4&gt;

図1 地域がん登録実施府県



地方	地域がん登録実施府県
北海道	北海道
東北	青森、岩手、秋田、宮城、山形
関東・甲信越	茨城、栃木、群馬、千葉、神奈川、新潟
中部・北陸	富山、石川、福井、愛知、岐阜
近畿	滋賀、京都、大阪、奈良
中国	鳥取、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	佐賀、長崎、熊本、鹿児島、沖縄



表1. 地域がん登録に基づく5年相対生存率—診断年1993—96年、特定部位

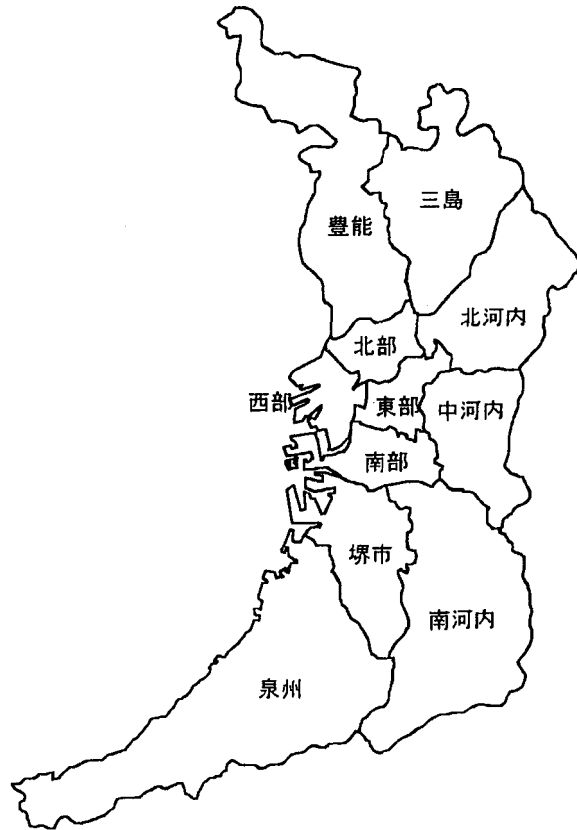
	胃		大腸		肺		乳房		卵巣	精巣	白血病
	進行度調整	進行度調整	進行度調整	進行度調整	進行度調整	進行度調整					
山形 全体 <sup>*2</sup>	65.6	62.7	72.6	71.2	27.6	28.4	88.7	88.8	52.8	92.4	29.6
限局	96.0		96.2		77.3		96.8				
領域	41.8		67.5		21.5		85.9				
遠隔	3.9		8.0		3.3		24.5				
福井 全体 <sup>*2</sup>	66.8	63.2	72.6	69.1	21.8	19.1	84.7	83.2	52.6	94.3	32.7
限局	96.2		94.6		58.1		96.6				
領域	44.9		62.8		11.5		76.1				
遠隔	4.8		9.8		1.6		25.9				
大阪 全体 <sup>*2</sup>	54.5	57.5	61.9	65.6	17.1	18.3	82.3	84.7	46.8	89.8	32.3
限局	90.5		92.2		56.9		96.2				
領域	34.4		55.7		13.5		76.8				
遠隔	1.7		6.6		2.4		24.5				
不明	43.8		58.7		8.8		81.0				
新潟 全体 <sup>*2</sup>	67.9	60.3	73.2	68.9	30.8	22.8	86.9	82.4	55.5	92.9	33.8
限局	96.3		97.4		70.7		98.4				
領域	41.7		60.1		17.3		78.3				
遠隔	2.5		7.4		2.5		27.4				
不明	31.1		56.5		11.2		49.3				
宮城 全体 <sup>*2</sup>	67.0	67.5	70.0	74.7	26.2	29.0	87.4	88.5	53.2	87.9	36.8
限局	98.1		99.5		80.1		97.4				
領域	46.7		70.0		19.3		83.4				
遠隔	6.0		10.7		1.7		28.1				
不明	62.4		68.4		28.7		88.0				
長崎 全体 <sup>*2</sup>	57.9	60.7	65.1	67.4	22.0	22.0	83.6	84.9	45.1	84.9	25.6
限局	96.2		96.4		67.1		98.0				
領域	40.1		60.1		17.7		73.7				
遠隔	2.9		9.0		2.7		32.2				
不明	36.8		47.9		10.1		80.5				
鳥取 全体 <sup>*3</sup>	69.1		74.3		28.9		86.5		47.7	80.6	26.7

\*<sup>1</sup> 補充届出患者、第2がん以降、上皮内がん(大腸では粘膜がん)を除く

\*<sup>2</sup> 進行度不明を含む

\*<sup>3</sup> 進行度情報なし

図2 大阪府11医療圏



大阪府11医療圏と地域がん診療拠点病院

医療圏	がん拠点病院	市区町村
大阪市 北部 西部 東部 南部	府立成人病センター 大阪赤十字病院 府立急性期・総合医療センター	北、都島、東淀川、旭、淀川、福島、此花、西、港、大正、西淀川、天王寺、浪速、東成、生野、城東、鶴見、中央、阿倍野、住吉、東住吉、西成、住之江、平野
豊能	市立豊中病院	豊中、吹田、池田、箕面、豊能、能勢
三島	高槻赤十字病院	高槻、茨木、摂津、島本
北河内	星ヶ丘厚生年金病院	枚方、寝屋川、守口、門真、四条畷、大東、交野
中河内	東大阪市立総合病院	東大阪、八尾、柏原
南河内	大阪南医療センター	藤井寺、羽曳野、松原、富田林、河内長野、太子、河南、千早赤坂、大阪狭山、美原、
堺	大阪労災病院	堺
泉州	市立岸和田市民病院	和泉、泉大津、忠岡、高石、岸和田、貝塚、泉佐野、熊取、田尻、泉南、阪南、岬

(平成15年8月26日現在)

表2. 医療圏別にみたがん患者の5年相対生存率、1993-96年新発届出患者

地域	進展度	胃			大腸			肝			肺			乳房		
		対象数 分布%*1	生存率	進行度 調整*2	対象数 分布%*1	生存率	進行度 調整*2	対象数 分布%*1	生存率	進行度 調整*2	対象数 分布%*1	生存率	進行度 調整*2	対象数 分布%*1	生存率	進行度 調整*2
市北部	全体	1,208	48.3	48.8	888	54.0	57.4	718	14.2	14.1	851	13.3	13.8	443	82.6	83.2
	限局	46.2	87.1		42.4	90.8		62.9	25.7		17.5	54.8		55.8	95.0	
	領域	32.0	29.0		35.1	45.1		19.8	3.1		41.2	10.8		37.0	78.2	
	遠隔	21.7	2.4		22.5	4.9		17.2	5.9		41.3	1.1		7.2	11.6	
市西部	全体	971	49.4	49.6	664	60.4	60.3	659	16.0	16.1	674	13.1	13.9	336	85.7	85.9
	限局	46.1	87.8		46.5	91.4		65.5	25.6		18.1	63.8		55.6	99.2	
	領域	32.6	30.1		36.7	50.5		17.6	4.3		41.6	7.0		37.8	74.2	
	遠隔	21.3	1.2		16.9	10.6		16.9	1.4		40.2	0.5		6.6	25.6	
市東部	全体	1,372	47.2	46.5	996	58.5	58.0	896	12.7	12.6	942	16.3	15.4	454	79.5	80.8
	限局	47.4	82.4		47.1	89.8		63.5	22.7		20.0	56.7		53.2	93.4	
	領域	33.4	28.3		36.5	47.0		18.2	6.5		42.1	11.3		39.1	75.2	
	遠隔	19.2	1.9		16.4	6.0		18.2	0.9		37.9	2.8		7.6	17.5	
市南部	全体	2,031	42.2	45.8	1,394	52.8	55.5	1,437	12.2	13.8	1,359	11.3	11.3	733	83.0	83.9
	限局	40.3	81.4		41.8	84.5		56.5	23.0		20.3	39.5		51.9	97.0	
	領域	37.1	28.6		36.4	47.8		22.3	5.7		38.4	10.5		41.5	76.3	
	遠隔	22.6	1.9		21.8	4.5		21.2	1.6		41.2	1.9		6.6	19.0	
豊能	全体	2,021	54.3	52.7	1,418	64.4	63.4	933	15.1	15.3	1,137	14.7	15.6	823	83.7	82.0
	限局	48.7	88.9		48.3	94.3		66.6	23.9		14.0	59.5		59.5	95.5	
	領域	31.8	35.6		33.2	55.2		15.7	7.4		46.3	12.2		35.9	72.9	
	遠隔	19.6	0.7		18.4	4.3		17.7	3.9		39.8	2.4		4.6	18.3	
三島	全体	1,200	54.9	51.0	760	62.6	61.1	575	17.1	16.4	671	12.1	12.9	367	82.9	86.7
	限局	53.4	93.7		52.7	90.4		70.1	25.8		17.1	47.7		46.2	95.2	
	領域	27.2	26.2		26.0	51.3		15.9	3.5		38.9	9.8		42.0	83.6	
	遠隔	19.3	1.6		21.3	7.9		14.0	5.6		44.0	2.3		11.8	33.8	
北河内	全体	1,888	52.4	51.4	1,292	58.8	60.5	987	17.2	15.8	1,053	14.1	14.0	738	80.7	80.7
	限局	47.9	90.0		44.1	89.5		66.2	26.9		18.4	53.2		54.6	93.5	
	領域	34.0	33.8		35.1	53.7		16.4	5.1		43.5	11.7		39.9	73.5	
	遠隔	18.2	1.1		20.8	5.3		17.4	3.1		38.1	0.6		5.5	21.9	
中河内	全体	1,705	48.9	49.0	1,118	55.3	56.3	1,014	14.1	13.8	1,068	12.7	14.0	636	81.6	81.3
	限局	46.4	87.9		46.0	91.0		64.9	21.5		15.1	51.9		55.5	94.9	
	領域	32.5	28.7		33.3	45.7		19.0	10.0		46.3	12.7		39.0	72.7	
	遠隔	21.1	1.4		20.7	4.7		16.1	3.6		38.5	1.0		5.5	21.2	
南河内	全体	1,296	51.5	50.2	830	62.1	57.8	665	18.7	16.6	765	13.4	12.9	605	86.8	85.3
	限局	45.9	92.8		50.9	89.0		70.9	28.2		19.8	49.1		56.8	99.0	
	領域	37.5	27.9		34.1	49.6		14.5	7.6		36.3	8.3		39.0	77.6	
	遠隔	16.6	0.6		15.0	5.8		14.5	5.9		43.9	2.8		4.2	12.9	
堺市	全体	1,471	46.9	49.7	1,056	58.8	60.5	801	14.0	14.6	988	18.7	18.1	626	85.4	83.5
	限局	40.4	88.7		41.3	91.1		67.8	27.1		20.0	63.5		57.8	96.2	
	領域	39.0	32.1		37.6	58.5		14.6	1.5		39.0	14.3		37.7	77.9	
	遠隔	20.6	1.2		21.1	4.2		17.5	3.7		41.1	2.2		4.5	18.6	
泉州	全体	1,604	49.5	49.3	1,043	60.1	57.5	766	13.9	13.2	778	17.2	14.2	516	80.5	80.6
	限局	45.4	90.5		49.7	89.5		69.4	23.7		25.6	52.8		53.8	95.2	
	領域	35.4	28.2		32.8	51.5		17.7	3.4		38.3	10.7		40.6	69.5	
	遠隔	19.3	0.4		17.5	3.2		12.9	4.5		36.1	2.2		5.6	18.6	

\*1 進行度不明を除く分布。

\*2 各医療圏での進行度別5年相対生存率に、大阪府全体の進行度分布を乗じ、進行度調整生存率を算出した。

表3. 治療医療機関別にみた5年相対生存率—大阪府がん診療拠点病院、1993-96年診断新発届出患者\*1

部位	府立成人病C		大阪赤十字HP		府立急性期・総合医療C		市立豊中HP		高槻赤十字HP		星ヶ丘厚生年金HP		大阪南医療C		大阪労災HP		市立岸和田市民HP*2		東大阪市立総合HP		
	進行度	対象数	生存率	観察数	生存率	観察数	生存率	観察数	生存率	観察数	生存率	観察数	生存率	観察数	生存率	観察数	生存率	観察数	生存率	観察数	生存率
胃																					
限局	363	100.0	214	90.3	198	88.9	184	95.3	49	100.0	192	94.0	103	90.0	207	93.8	31	98.0	81	89.8	
領域	87	45.5	166	31.3	181	40.7	154	47.8	41	30.1	90	44.0	109	37.2	171	44.9	36	44.6	65	24.5	
遠隔	63	8.5	49	2.2	59	6.0	37	0.0	34	5.4	39	0.0	20	0.0	57	0.0	17	-	42	0.0	
全体*3	513	80.4	443	57.4	455	56.2	376	66.7	125	50.7	325	67.7	232	57.5	437	62.3	86	56.4	190	47.2	
大腸																					
限局	274	100.0	157	91.8	159	88.5	132	98.2	33	94.1	93	91.9	79	96.4	123	87.5	21	92.5	54	94.6	
領域	55	80.0	105	56.3	126	61.2	119	62.0	29	42.8	77	62.6	54	69.1	108	68.7	23	53.7	39	55.4	
遠隔	25	17.6	45	4.9	57	14.8	46	9.5	25	8.9	31	14.6	6	-	49	6.9	16	-	27	8.3	
全体*3	354	95.3	316	67.0	346	66.0	298	69.5	95	56.0	204	68.8	139	82.7	282	65.5	62	53.1	120	62.1	
肝臓																					
限局	237	51.7	177	35.0	50	39.0	43	32.5	19	-	93	28.9	116	34.8	88	31.8	28	31.6	20	5.6	
領域	103	24.3	16	-	8	-	5	-	5	-	8	-	22	20.3	10	-	3	-	7	-	
遠隔	72	18.3	19	-	10	-	5	-	3	-	10	-	10	-	4	-	3	-	5	-	
全体*3	413	38.9	248	30.1	166	21.8	73	22.0	52	17.3	121	23.1	148	30.3	116	25.0	37	23.9	45	2.5	
肺																					
限局	135	89.8	76	74.1	58	-*4	0	-	27	67.8	60	65.7	2	-	0	-	10	-	0	-	
領域	244	20.1	181	18.6	27	-	0	-	45	29.4	77	17.4	3	-	0	-	21	21.4	7	-	
遠隔	165	3.3	117	3.8	105	-	7	-	33	0.0	37	3.0	12	-	4	-	5	-	6	-	
全体*3	544	32.2	378	25.0	208	-	10	-	110	30.1	178	30.0	17	-	5	-	37	37.3	13	-	
乳房																					
限局	298	98.4	95	97.8	107	97.7	115	94.0	25	95.1	77	95.6	52	94.7	105	99.7	13	-	61	98.1	
領域	160	77.0	91	78.9	117	77.8	79	72.3	29	81.6	51	85.4	50	86.7	91	80.3	25	77.7	35	85.6	
遠隔	19	-	8	-	12	-	5	-	3	-	6	-	2	-	10	-	0	-	0	-	
全体*3	480	88.0	196	85.4	239	84.3	202	84.0	60	82.3	135	89.0	104	88.9	207	87.7	39	85.0	97	93.3	

\*1 大阪府がん登録資料に基づいて、診断年が1993-96年の新発届出患者の5年相対生存率を、治療実施施設毎に算出した。

①治療について複数の医療機関から届出のあった場合は、主治療を担当した医療機関で集計した。主治療は、手術>放射線治療>TAE>エタノール注入>レーザー治療>化学療法>ホルモン療法>免疫療法、の順番で判定。

②相対生存率とは、実測生存率を、患者と同じ性・年齢・同世代の日本人一般人口が示す期待生存率で除した値。日本人一般人口と同じであれば100%となり、がんによる40%の過剰死亡があれば60%となる。

③上皮内がん、大腸粘膜がん、重複がんの第2がん以降、診断時年齢が100歳以上の各例は、生存率集計対象から除いた。

④患者数が20例未満では生存率の信頼度が低くなるので表示を控えた。

⑤進行度は、診断時のがんの拡がりにより、「限局(原発臓器に限局)」、「領域(所属リンパ節または隣接臓器・組織に浸潤)」、「遠隔(遠隔臓器・組織に転移)」の3つに分類。

⑥同一部位・同一進行度・同性であっても、患者の年齢や合併症の有無、がんの病理組織学的特性、解剖学的部位、等により、生存率に違いがある可能性があるため、施設間の成績を単純には比較できない。

⑦各施設からの大阪府がん登録への届出が不完全であると、生存率成績が、真の値より高くなったり、低くなったりする。

\*2 届出が不完全な1993-94年診断患者を除き、1995-96年診断患者に限定して集計

\*3 進行度不明例を含む

\*4 登録漏れが多く信頼性が低い。

表4. 大阪成人病C、府がん診療拠点病院、及び、全大阪府  
 -1993-96年診断新発届出患者(参考:米国SEER)-

部位 進行度	府立成人病C		拠点病院全体		全大阪府* <sup>1</sup>		米国SEER	
	対象数	生存率	観察数	生存率	観察数	生存率	観察数	生存率
胃								
限局	363	100.0	1,651	94.5	7,028	88.2	1,467	57.6
領域	87	45.5	1,135	39.5	5,203	30.2	2,225	21.1
遠隔	63	8.5	427	2.5	3,053	1.3	2,123	2.7
全体* <sup>2</sup>	513	80.4	3,257	62.5	16,767	49.5	6,760	22.0
大腸								
限局	274	100.0	1,157	95.8	4,887	90.1	15,118	90.0
領域	55	80.0	754	61.9	3,649	50.8	15,324	65.0
遠隔	25	17.6	334	10.2	2,063	5.2	8,015	9.1
全体* <sup>2</sup>	354	95.3	2,274	71.5	11,459	58.7	40,667	61.8
肝臓								
限局	237	51.7	878	37.3	4,494	24.7	978	14.2
領域	103	24.3	188	18.8	1,227	5.6	867	5.0
遠隔	72	18.3	142	9.3	1,178	3.3	790	2.2
全体* <sup>2</sup>	413	38.9	1,431	28.6	9,451	14.7	3,669	6.3
肺								
限局	135	89.8	368	70.6	1,724	53.2	7,765	48.9
領域	244	20.1	608	19.5	3,830	11.2	17,779	15.7
遠隔	165	3.3	498	3.2	3,716	1.8	19,016	2.0
全体* <sup>2</sup>	544	32.2	1,510	26.1	10,286	14.2	49,898	14.9
乳房								
限局	298	98.4	956	97.1	3,292	95.8	35,511	97.0
領域	160	77.0	737	79.3	2,331	75.3	16,194	78.4
遠隔	19	-	68	29.2	358	20.3	3,256	22.1
全体* <sup>2</sup>	480	88.0	1,779	86.8	6,277	82.9	56,527	86.4

\*<sup>1</sup> 治療医療機関に関わらず大阪府全体の成績

\*<sup>2</sup> 進行度不明例を含む

(1993年~1998年)

表1 全悪性新生物の施設別5年生存率

施設名	男女計		調査起点	男		女		計	
	症例数	消息判明率		全退院5生率	生存退院5生率	全退院5生率	生存退院5生率	全退院5生率	生存退院5生率
全がん協加盟施設	126,899	98.16%	...	52.0 ± 0.23	58.3 ± 0.24	70.5 ± 0.21	75.1 ± 0.21	61.1 ± 0.16	66.8 ± 0.16
宮城県立がんセンター	5,071	99.92%	退院日	59.0 ± 1.00	66.1 ± 1.03	60.1 ± 1.21	65.5 ± 1.25	59.4 ± 0.77	65.8 ± 0.79
栃木県立がんセンター	4,265	99.67%	治療開始日	52.1 ± 1.22	56.3 ± 1.27	72.4 ± 1.19	75.3 ± 1.19	61.4 ± 0.87	65.2 ± 0.89
群馬県立がんセンター	5,260	99.96%	診断日	51.7 ± 1.13	59.1 ± 1.21	74.8 ± 0.97	79.0 ± 0.96	62.8 ± 0.77	69.0 ± 0.79
埼玉県立がんセンター	6,939	99.96%	治療開始日	51.7 ± 0.97	58.5 ± 1.03	71.9 ± 0.85	75.9 ± 0.84	62.1 ± 0.65	67.8 ± 0.67
千葉県がんセンター	6,734	73.72%	退院日	63.4 ± 1.01	69.8 ± 1.05	74.4 ± 0.93	78.4 ± 0.92	68.7 ± 0.69	74.1 ± 0.70
財団法人がん研究会附属病院	15,821	99.96%	治療開始日	53.3 ± 0.70	63.1 ± 0.76	70.6 ± 0.56	78.8 ± 0.56	63.2 ± 0.45	72.3 ± 0.46
神奈川県立がんセンター	8,915	100.00%	診断日	48.4 ± 0.87	54.7 ± 0.94	72.6 ± 0.76	76.5 ± 0.76	60.5 ± 0.59	66.0 ± 0.61
愛知県がんセンター	8,699	99.93%	治療開始日	54.8 ± 0.91	60.2 ± 0.95	74.9 ± 0.73	78.0 ± 0.72	65.5 ± 0.58	69.9 ± 0.59
国立四国がんセンター	6,621	96.12%	治療開始日	50.2 ± 1.10	56.4 ± 1.18	73.8 ± 0.84	77.6 ± 0.83	63.1 ± 0.69	68.3 ± 0.71
国立九州がんセンター	5,853	100.00%	診断日	57.1 ± 1.09	65.8 ± 1.15	75.4 ± 0.87	79.1 ± 0.86	67.3 ± 0.70	73.5 ± 0.70
(がんセンター群合計)	74,178	97.22%	...	57.3 ± 0.28	64.7 ± 0.29	72.2 ± 0.26	77.1 ± 0.26	64.2 ± 0.20	70.4 ± 0.21
国立札幌病院 (北海道地方がんセンター)	5,194	98.73%	入院日	43.7 ± 1.22	50.2 ± 1.34	70.2 ± 0.97	74.0 ± 0.97	58.8 ± 0.78	64.3 ± 0.81
東京都立駒込病院	6,200	99.48%	治療開始日	54.3 ± 1.00	59.3 ± 1.05	67.5 ± 1.03	71.1 ± 1.04	60.3 ± 0.72	64.8 ± 0.74
新潟県立がんセンター新潟病院	9,640	100.00%	退院日	54.2 ± 0.77	57.8 ± 0.80	70.8 ± 0.80	73.4 ± 0.80	61.3 ± 0.56	64.7 ± 0.57
国立具病院 (中国地方がんセンター)	3,890	99.92%	治療開始日	43.4 ± 1.27	51.2 ± 1.42	62.5 ± 1.32	70.4 ± 1.36	52.0 ± 0.93	60.0 ± 1.00
(併設型がんセンター群合計)	24,924	99.59%	...	50.7 ± 0.50	56.0 ± 0.53	68.6 ± 0.49	72.6 ± 0.50	59.1 ± 0.36	63.9 ± 0.37
滋賀県立成人病センター	3,210	100.00%	治療開始日	61.4 ± 1.27	69.8 ± 1.31	74.0 ± 1.35	79.6 ± 1.33	66.9 ± 0.94	74.2 ± 0.94
大阪府立成人病センター*	2,878	99.48%	治療開始日	54.3 ± 1.19	58.2 ± 1.22	72.4 ± 1.33	74.7 ± 1.31	61.4 ± 0.91	64.9 ± 0.92
兵庫県立成人病センター	7,322	99.95%	退院日	50.3 ± 0.94	54.1 ± 0.99	72.6 ± 0.89	75.2 ± 0.89	60.6 ± 0.67	64.0 ± 0.68
(成人病センター群合計)	13,410	99.86%	...	53.3 ± 0.64	58.0 ± 0.67	72.6 ± 0.65	75.7 ± 0.65	61.7 ± 0.47	66.0 ± 0.48
山形県立成人病センター*	800	98.63%	入院日	50.7 ± 2.37	57.5 ± 2.50	68.1 ± 2.50	73.1 ± 2.46	58.4 ± 1.75	64.6 ± 1.79
福井県立成人病センター*	1,424	100.00%	診断日	50.1 ± 1.81	57.8 ± 1.93	65.0 ± 1.85	70.7 ± 1.84	57.0 ± 1.31	64.0 ± 1.35
(併設型成人病センター合計)	2,224	99.51%	...	50.3 ± 1.44	57.7 ± 1.53	66.0 ± 1.49	71.5 ± 1.48	57.5 ± 1.05	64.2 ± 1.08
岩手県立中央病院	5,463	98.06%	退院日	42.6 ± 1.05	48.9 ± 1.15	62.0 ± 1.16	67.4 ± 1.20	51.2 ± 0.79	57.3 ± 0.84
国立名古屋病院	4,325	99.33%	退院日	53.5 ± 1.14	61.6 ± 1.21	68.0 ± 1.11	74.7 ± 1.11	60.6 ± 0.81	68.1 ± 0.83
山口県立中央病院	2,375	99.49%	治療開始日	31.5 ± 1.53	35.2 ± 1.68	48.7 ± 1.79	52.9 ± 1.89	39.0 ± 1.18	43.1 ± 1.27
(総合病院群合計)	12,163	98.79%	...	44.1 ± 0.70	50.4 ± 0.76	61.9 ± 0.74	67.5 ± 0.76	52.2 ± 0.52	58.4 ± 0.55

(\*大阪、福井は1993~1994年の2年間のデータ、山形は1993年のデータにて算出)

出典：厚生労働省がん研究助成金「地域がん専門診療施設のソフト面の整備拡充に関する研究」班平成12年度報告書

表2 生存率算定のための個別データ収集状況

施設	対象部位	届出件数	組織診断					施設	届出件数	進行度			未追跡*2	
			良性	上皮内	悪性	転移性	なし			臨床病期	病理病期	臨床進行度	数	割合(%)
札幌	全部位	877	0	35	842	0	0	札幌	877	538	517	510	29	3.31
岩手	全部位	916	-	-	-	-	916	岩手	916	235	153	684	20	2.18
宮城	特定部位*1	451	4	25	398	0	24	宮城	451	416	359	443	7	1.55
山形	全部位	758	1	2	128	2	625	山形	758	714	-	722	23	3.03
栃木	全部位	889	71	35	768	10	5	栃木	889	727	535	-	7	0.79
茨城	全部位	411	36	0	404	0	7	茨城	411	375	300	388	147	35.77
群馬	全部位	762	6	20	690	2	44	群馬	762	615	185	437	5	0.66
埼玉	全部位	1,258	0	0	1,258	0	0	埼玉	1,258	864	557	-	41	3.26
千葉	全部位	1,149	0	62	1,056	2	29	千葉	1,149	828	332	366	200	17.41
癌研	全部位	3,066	5	218	2,617	7	219	癌研	3,066	1,607	-	-	31	1.01
国立	全部位	2,486	-	-	-	-	2,486	国立	2,486	-	-	-	7	0.28
駒込	全部位	1,167	6	14	1,118	0	29	駒込	1,167	911	566	947	31	2.66
神奈川	全部位	1,546	0	34	1,512	0	0	神奈川	1,546	866	695	50	5	0.32
新潟	全部位	1,699	0	31	1,583	7	78	新潟	1,699	682	526	1,597	1	0.06
福井	全部位	716	5	16	596	10	89	福井	716	529	260	682	0	0.00
名古屋	全部位	750	29	25	696	0	0	名古屋	750	-	-	-	431	57.47
大阪	全部位	1,808	24	122	1,440	23	199	大阪	1,808	614	179	1,536	20	1.11
兵庫	特定部位*1	771	0	35	683	8	45	兵庫	771	767	575	766	7	0.91
山口	全部位	390	13	6	317	0	54	山口	390	244	-	279	49	12.56
四国	全部位	1,094	10	44	994	2	44	四国	1,094	973	-	1,060	18	1.65
九州	全部位	908	0	15	579	0	314	九州	908	574	-	566	9	0.99
合計		23,872	210	739	17,679	73	5,207	合計	23,872	13,079	5,739	11,033	1,088	4.56

\*1: 胃(C16)、結腸(C18)、直腸(C20)、肝(C22)、肺(C34)、乳(C50)、子宮頸(C53)

\*2: 未追跡は生存患者で生存期間が5年(1,826日)未満と定義

表3 胃癌の施設別、施設群別の5年実測・相対生存率とステージ別割合

施設番号	胃癌例数	5年生存率		消息判明率	ステージI	ステージII	ステージIII	ステージIV	ステージ不明
		実測	相対						
1	271	73.4	80.7	100.0	51.3	4.1	10.0	8.1	26.6
2	465	72.3	79.1	100.0	47.1	5.2	7.3	8.8	31.6
3	235	67.2	74.8	100.0	19.6	3.8	5.1	0.9	70.6
4	188	66.3	72.2	62.3	56.9	3.7	9.6	20.7	9.0
5	196	65.8	73.0	97.6	60.7	5.1	13.8	12.2	8.2
6	148	64.2	68.6	98.9	56.8	12.2	14.9	14.2	2.0
7	136	61.9	68.3	97.6	59.6	5.1	11.0	17.6	6.6
8	136	60.9	66.8	92.3	18.4	8.1	3.7	4.4	65.4
9	246	60.0	65.8	98.6	32.1	2.8	6.9	8.5	49.6
10	185	59.5	65.7	98.1	53.5	4.9	10.3	22.2	9.2
11	157	57.3	61.6	92.0	42.7	7.0	15.9	25.5	8.9
12	379	57.1	73.1	98.4	-	-	-	-	100.0
13	63	57.1	64.1	100.0	47.6	17.5	11.1	22.2	1.6
14	58	53.4	58.6	100.0	43.1	10.3	19.0	24.1	3.4
15	121	52.9	57.6	100.0	51.2	9.9	5.8	24.8	8.3
16	50	47.6	55.3	68.2	48.0	4.0	14.0	30.0	4.0
17	132	45.4	50.6	94.5	50.0	11.4	15.9	13.6	9.1
18	106	45.3	52.5	100.0	30.2	5.7	7.5	28.3	28.3
19	104	43.3	48.2	100.0	1.0	16.3	41.3	39.4	1.9
A群*	2,009	60.9	66.7	94.5	38.8	4.6	7.8	12.6	36.2
B群*	498	63.1	70.0	100.0	45.4	6.8	10.6	16.1	21.1
C群*	383	66.1	72.4	99.6	33.9	7.1	8.9	6.0	44.1
D群*	300	58.0	64.4	98.2	40.0	9.0	23.3	21.7	6.0
E群*	188	57.2	63.4	87.0	26.3	7.0	6.5	11.3	48.9
合計	3,376	61.4	67.6	95.8	38.7	5.7	9.6	13.1	32.9

\*: 再掲 - A群 (2, 4, 7, 9, 10, 11, 12, 15, 17)、B群 (1, 13, 14, 18)、C群 (3, 6)、D群 (5, 19)、E群 (8, 16)

表4 比例ハザードモデルによる交絡因子の補正後の施設群別オッズ比

交絡因子						A. がんセンター群	B. 総合病院併設がんセンター群	C. 成人病センター群	D. 総合病院併設成人病センター群	E. 総合病院群
性別	年齢	検診由来	臨床病期	手術	化学療法					
-	-	-	-	-	-	1.000	0.992	0.810*	1.171	1.237
○	-	-	-	-	-	1.000	0.991	0.804*	1.181	1.239
-	○	-	-	-	-	1.000	0.973	0.812*	1.119	1.170
-	-	○	-	-	-	1.000	1.002	0.851	1.234*	1.253*
○	○	-	-	-	-	1.000	0.974	0.807*	1.129	1.172
○	○	○	-	-	-	1.000	0.983	0.842	1.187	1.187
○	○	○	○	-	-	1.000	1.130	1.101	0.856	0.981
○	○	○	-	○	-	1.000	1.118	1.151	0.925	1.096
○	○	○	-	-	○	1.000	1.293*	1.157	0.920	1.083
○	○	○	○	○	-	1.000	1.135	1.136	0.999	1.184
○	○	○	○	○	○	1.000	1.340*	1.135	0.961	1.109

○: 補正、-: 補正なし、\*: P<0.05